



広報

# なま 市民の友

第627号 毎月1回発行  
2003年(平成15年)

4月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
*( )内はうち外国人 2003(平成15)年2月末現在	
総人口	308,469(1,815)
男	149,118( 910)
女	159,351( 905)
世帯数	120,354(1,043)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	87,209
真和志	105,768
首 里	58,610
小 緑	55,067



## 未来に伸びる情いの軌道

ゆるいレール

### 8月10日 モノレール開通

今年12月の運行開始が予定されていた沖縄都市モノレール「ゆいレール」が、採算上のメリットの面や工事が順調に進んでいることから、多くの利用者が見込まれる夏休み期間中の8月10日に開通することになりました。

この日は「道の日」に当たることから、沖縄の軌道の復活には、まさにふさわしい日といえます。ゆいレールは、2両編成で定員165名。車窓を大きく、座席の背もたれを低く、逆に網棚を高くするなど、景観を楽しめる配慮が施されています。

那覇空港駅から安里駅までは、渋滞する国際通り・ひめゆり通り・又吉通りを眼下に、おもしろまち駅から首里駅までは、左手に東シナ海、右手には首里城を望み、窓の外に広がる南国の日差しを浴びた、あざやかなパノラマを楽しむことができます。

市では、モノレールからの景観を考え、各駅の周辺地域を屋上緑化モデル地区に指定し、緑化工事費用の一部を助成することになりました。

13キロの道程は、揺れをほとんど感じることもなく、27分という短時間で、快適に始点の那覇空港駅と終点の首里駅を結びます。待ちに待った「ゆいレール」、もうすぐ、出発です。

主な紙面	
(2面)	ペットボトルのリサイクル
(3面)	子どもたちが消防体験
(4面・5面)	市町村合併ってナンのコト!?
(6面)	障害者の福祉サービス開始
(7面)	情報PACK

### 市長談 TAIDAN ①



まつもと ゆきお  
**松本行雄**  
(琉球銀行 相談役)  
1937年(昭和12年)、那覇市生まれ。昭和35年、琉球銀行入行。安謝支店長、常務取締役、専務取締役、代表取締役頭取などを経て、平成13年から現職。県内の食生活の乱れに警鐘を鳴らし、「スローフード」運動の必要性を提唱している。

翁長雄志市長 対談の第一回目として、最近よく耳にする「スローフード」について、以前からその重要性を提唱なさっている松本さんにおいでいただきました。

松本行雄さん 17年ほど前大手ファーストフード店が進出したイタリアで、本来の食生活が消えていくのではという危惧が広がりました。そこで、ゆとりある、質の高い食生活を実現しようと生まれた言葉が「スローフード」です。

伝統的な食材や料理、質のよい食品を守り、また、それを作る小生産者を支援し、味の教育を進めようという運動です。

市長 松本さんがこの運動に関心をもたれたきっかけは、松本 無認可の添加物や農薬残留などの食品に関する事件、長寿番付で沖縄県の男性が4位から26位になってしまったというショック、さらには、食生活の乱れと肥満で子どもたちに糖尿病などの生活習慣病が広がっているということなどで、この運動の必要性を痛感しました。

最近の新聞では子どもの5人に1人が成人病の予備軍だと。市長 あれにはびっくりしましたね。

松本 健康とか寿命、医療、生活や経済、性格形成までが食の問題に関係してきます。全体的な運動に展開させたいと思っています。

市長 高度経済成長期に食事を短時間でというファーストフードが時代を反映して、教育や社会現象などに良いことも悪いことも連動してきたのかなというように感じます。

松本 ファーストフードを否定しているのではないのです。そればかり食べ続けるという問題がです。よと。人格形成や健康面で、きちんとした食事、家族で囲む食卓が人間形成の場、つけの場になるということなんです。

市長 今の子は好きな食べ物を安易に与えられるので、人間関係でも気が知れた人だけを選ぶというむきがありますね。

松本 若い人たちが今すぐ、食生活、生活習慣を改めないで、非常に残念ですが、41歳までしか生きられないことになるかも知れません。

